



かなやま

ふるさとを愛し、
自信と誇りをもち
未来を拓く子どもの育成

学力・心力
体力・労力

今回の学校だよりは、佐賀市フリー参観デー、人権集会、なるほどthe World!です。

文責 校長 横山

フリー参観デーへの御参加ありがとうございました。

6月8日（日）に行った佐賀市一斉フリー参観デーに、参加いただきましてありがとうございました。参観授業としては、1時間目に3学年合同の社会科合同授業、2時間目に3学年合同のふれあい道德の授業を行いました。

社会科の授業では、2年生が社会科の授業でまとめた「日本や三瀬の災害」についてプレゼンを行い、中学生として何ができるかについてグループで話し合ったことを、発表しました。

また、ふれあい道德の授業では、先生の教え子さんが「ふるさと」に帰って奮闘している実話から、「三瀬の宝を未来に残し、伝えるアイディア」について話し合いました。

教育講演会では、給食センターの北川栄養教諭を招いて、朝ごはんを食べることや赤（タンパク質）、黄（炭水化物、糖類）、緑（食物繊維、ビタミン、ミネラル）をバランスよく食べることの大切さについて話を伺うことができました。先生たちによる紙芝居や食材の写真を頭に被ってじゃんけん列車をしながら、楽しく学ぶことができました。朝ごはんについて事前にアンケートしていたのですが、ごはんや菓子パンだけを食べている生徒が思いのほか多かったです。それを改善するためにも、「まごわやさしい（豆・ごま・わかめ・野菜・魚・しいたけ・いも）」と言われる食材をふんだんに使った味噌汁をプラスするだけで栄養満点の朝ごはんになることを教えてくださいました。朝ごはんをしっかりと食べると血流が良くなり、頭の働きが良くなるということです。食

「いじめ・命を考える日」
6月の 人権集会

人権について考えよう

6月4日（水）、いじめ・命を考える日に人権集会を行いました。人権集会は、先生の「人権」って何だろう？という問いかけから始まり、周りとの意見交流をしながら進んでいきました。

辞書を引くと、人権とは「人間が人間として、生まれながらに持っている権利」と書かれています。先生は、生徒の「人間が**幸せ**に生きていくために欠かせない権利」という回答に対して、「どんなときに**幸せ**を感じるか？あなたにとって**幸せ**とは？」と問いかけなおしました。それぞれの回答が全く違うことから、「**幸せ**は人によって違う」「**幸せ**は（人生）経験を経るごとに増していく（変化していく）」ということにも生徒たちは気づいたようです。また、みんなが幸せに学校生活を送ることができるように、今の自分を振り返った生徒もたくさんいました。

「人権」について改めて考えると難しく感じるかもしれませんが、実は日ごろから大切にしたい、守りたいと思ってるもので、私たちの身近にあるものです。私は先生の話の伺いながら、マズローというアメリカの心理学者の5段階欲求を思い浮かべていました。人間には欲求階層があり、「一つ下の欲求が満たされると次の欲求を満たそうとし、絶えず自己実現に向かって成長するものである」とした考えです。自己実現欲求は、人間しか持つことのできない欲求だそうです。学校では、生徒が安心して生活できるような環境づくり、所属感を満たすためのグループ活動や生徒会活動、承認欲求を満たすための指導や役割を与えること、自己実現欲求（目標達成）を満たすための進路指導や興味関心に応じた学習機会の提供に一層努めていきたいと思いました。

お知らせとお礼

①**水害土砂災害引渡し訓練**では、御協力いただきありがとうございました。引渡し訓練開始のメール発信から、予定時間内にすべての御家庭に、生徒たちを引き渡すことができました。いつ何時、起こるかわからないのが災害です。これからも、御協力よろしくお願いいたします。

②**県中学校総合体育大会の日程**が、選挙のために変更になっています。

剣道競技・卓球競技ともに7月22日（火）、23日（水）です。

フランスの学校生活について知ろう！フランスのクサク村との交流で実際にインタビューしてみたいですね。

フランスでは、2019年から3歳から16歳までが義務教育となりました。3歳から5歳までが幼稚園、6歳からの5年間は小学校、4年間で中学校、その次の3年間（18歳まで）が高校です。塾に通ったり、家庭教師から学ぶ子どもはあまりいません。成績の優秀な生徒には「飛び級」制度がありますが、成績が悪いと留年することもあるので、子どもたちは学校でも家庭でもしっかり勉強するようです。フランスの公立学校は無料で通え、公立ではすべて男女共学です。ほとんどの場合、授業は月曜・火曜・木曜・金曜で水曜はお休み（または半日）、土曜と日曜もお休みです。新学期は9月から始まります。

学校給食は、カフェテリア式で、用意された料理を自分で取っていくスタイルのところが多いです。一方で、約2時間の長いお昼休みを取る学校もあり、大都市や両親が共働きの場合を除けば子どもたちはいったん家に帰って昼食をとることもできます。

次号は、7月の行事予定、不審者対応避難訓練、交通安全教室を掲載する予定です。

なるほど
the World!